

2016年4月18日 新聞曇報

「第14回お茶まつり及び第12回天目湖旅行まつり 盛大に始動する」

(一部プログラム内容抜粋)

開幕式及び「世界長寿の村」授与式

4月28日 午前9時58分

参加者：江蘇省旅行関係部門リーダー、溧陽市関係部門リーダー、友好都市代表、茶業業界・旅行業者界の知名人、商業関係者、約700名参加

主要な流れ：関係部門リーダーの式辞、揭牌儀式、重要項目調印式、各地方伝統芸能のステージ披露

「溧陽の春」特別興行 芸能の夜会

4月28日 夜

内容：「溧陽の春」芸能の夜会は、精彩に富む文芸演出で、溧陽特有の文化や風情が感じられ、より深く溧陽を知ることが出来る内容となっている。

2016年4月19日 中国江蘇ネット

「第14回お茶まつり及び第12回天目湖旅行まつり 4月28日開幕」

4月19日、第14回中国溧陽お茶まつり及び第12回天目湖旅行まつりの記者会見が南京で行われた。会見には、徐華勤溧陽市長、周衛中副市長等幹部が出席し、記者の質問に答えた。この二つのまつりは、4月28日から5月28日まで天目湖で行われ、中国茶葉学会、中国経済研究会、新華新聞メディア集団、江蘇省旅行協会、溧陽市人民政府が主催している。

今回は、「自在茶香、美音溧陽（お茶の良い香りの中でリラックスし、溧陽の美しい音を楽しむ）」をテーマとし、5つのハイライトがある。第1に、開幕式の場所である天目湖湖畔に舞台を設置し、溧陽市の特色ある伝統的文化プログラムを多く披露し、開幕を盛り上げる。開幕式には「世界長寿の村」のプレート授与式や、「天目湖国家級旅行リゾート区」揭牌式、重要項目調印式などの活動が含まれる。第2に、期間中は、来賓を茶園へ招き、茶畑の美しい風景を鑑賞、溧陽市の製茶技術を理解してもらうと共に、新茶の試飲を行い、溧陽の茶文化を体験してもらう。第3に、期間中、「曹山園区」の農場で野外キャンプ大会を実施する。約1,000人の旅行客が、ランニング、レーシングカー、魚釣り、バーベキュー、テントキャンプなどの活動を行う。第4に、「溧陽の春」特別興行を行う。これには、「中国文化芸術団体連合会」を招待し、「最下層の人々にも娯楽を送る」というテーマの下に慰問公演を行っている「中国テレビ芸術家協会」による、相声（中国の漫才）、歌曲、劇などの演目が行われる。第5に、二つのまつりは、南京、上海、杭州の3つの場所で記者会見を行い、まつりによる産業と都市の融合及び観光のプロモーションを行う。また、産業と観光という違った角度から宣伝を行うことで、広く溧陽市を紹介する。

溧陽お茶まつりは、1991年に天目湖で大成功を収めてから、これまで13回行われている。2005年には、お茶まつりに加えて、「天目湖旅行まつり」も行われるようになり、これまで11回成功している。長年にわたり、溧陽市スタッフによる保守と革新を通して、二つのまつりは今や溧陽市と国内外の交流促進、また経済協力の重要なプラットフォームとなっている。